

2027年度同志社女子大学音楽専攻科

一般入学試験 実技試験課題

実 技 試 験 課 題		試験に関する注意事項
声乐専攻	任意に選んだオペラまたはオラトリオのアリア1曲、歌曲1曲、合計2曲を演奏すること。	①歌詞は原語とし、暗譜で演奏すること。 ②伴奏者は各自手配すること。 ③途中で演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある。 ④演奏曲目の楽譜を1部、出願書類に同封し提出すること。
鍵盤楽器専攻	任意に選んだ1曲を演奏すること。 (ただし、当日の演奏は10分程度とする)	①受験を希望する楽器(裏面の「音楽専攻科 専攻(楽器)一覧」参照)で演奏すること。 ②暗譜で演奏すること(ただし、オルガン・チェンバロを除く)。 ③途中で演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある。 ④オルガン受験の場合は、当日レジストレーションの時間を与える。 ⑤試験で使用するオルガンの仕様は別紙(→こちら)で確認のこと。なお、試験で使用するのは新島記念講堂のパイプオルガンである。 ⑥オルガン受験の場合、譜めくり等アシスタントは各自手配すること。 ⑦チェンバロ受験の場合、使用する楽器はフレンチモデル2段鍵盤チェンバロとする。
管弦打楽器専攻	任意に選んだ1曲を演奏すること。 (ただし、当日の演奏は10分程度とする)	①受験を希望する楽器(裏面の「音楽専攻科 専攻(楽器)一覧」参照)で演奏すること。 ②楽器は③、④、⑤の場合を除き各自で用意すること。 ③ハープおよびマリンバは本学のものを使用すること。 ④コントラバスは本学のものも使用できるが、その場合は「実技試験演奏曲記入用紙」の所定欄に記入し、弓は各自で用意すること。 ⑤打楽器での受験がマルチパーカッションの場合は、借用希望楽器を「実技試験演奏曲記入用紙」の所定欄に記入すること。 ⑥伴奏はなし。 ⑦途中で演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある。

音楽専攻科 専攻(楽器)一覧

	専攻・楽器	
音楽専攻科	声乐専攻	
	鍵盤楽器専攻	ピアノ
		オルガン
		チェンバロ
	管弦打楽器専攻	ヴァイオリン
		ヴィオラ
		チェロ
		コントラバス
		ハープ
		フルート 注 1
		オーボエ
		クラリネット 注 2
		ファゴット
		サクソフォーン 注 3
		ホルン
		トランペット
		トロンボーン 注 4
		ユーフォニアム
		チューバ
		打楽器

注 1) ピッコロでも受験可能。ただし入学後はフルートを専攻する。楽器は各自で用意すること。

注 2) Es クラリネット、バスクラリネットでも受験可能。ただし入学後はBb/A クラリネットを専攻する。楽器は各自で用意すること。

注 3) ソプラノサクソフォーン、アルトサクソフォーン、テナーサクソフォーン、バリトンサクソフォーンのいずれでも受験可能。ただし入学後はアルトサクソフォーンを専攻する。楽器は各自で用意すること。

注 4) テナートロンボーン、バストロンボーンのいずれでも受験可能。入学後はテナートロンボーン、バストロンボーンのいずれでも専攻できる。楽器は各自で用意すること。